

ふるさとの人々の胸に響き続けた歌声

昭和63年結成のコーラスグループ「ベル・アルモニア赤池」が、11月23日に赤池支所ホールで20周年記念コンサートを行いました。旧赤池町の「童謡まつり」を当初から支えてきたベル・アルモニアは、この日、童謡など27曲を披露。18人の団員による美しい歌声に、来場した約120人は、頭や手足でリズムをとりながら聴きほれていました。



歌うことへの喜びと20周年の感謝の気持ちで会場に響らせたハーモニー。

保護者の質問にも答えたシドニーオリンピック銅メダリストの日下部さん(右)



夢をかなえる強い精神力と努力

元柔道選手である日下部基栄さんを講師に招いたPTA教育講演会が、11月30日に地域交流センターで開かれました。子どものころは病弱だったという日下部さん。「『大きな成果を出せるのは特別な人だけ』と言っているのは、その時点で無理。あきらめずに高い目標を設定することが大切」と、自らの経験をもとにした力強いメッセージを送りました。

地 藤本悠介力士が年に一度の里帰り 元九州場所で星6つ「一気に前へ」

九州場所を終え帰郷した、神崎出身の藤本悠介力士(三段目東16枚目・阿武松部屋)が、11月26日神崎保育所とそよ風保育園を訪問し、園児たちとふれあいました。「今場所は落ち着いて相撲が取れた」という藤本力士。無心で貰った自分のスタイル「一気に攻め」で、6勝1敗と大きく勝ち越し、「一生懸命にやって、もっと強くなって帰ってきます」と、昨年園児に交わした約束を見事に果たしました。次の番付が楽しみです。



無邪気な園児たちとのふれあい力でもらった藤本力士。

マンドリン、マンドラー、マンドセロ、ギターによる美しいアンサンブル。



今年も届いた音色のプレゼント

12月11日、毎年この時期に「天郷青年の家」で合宿を行っている北九州市立大学マンドリンクラブの12人が、昨年に続き上野小を訪問。児童の前に楽器の説明や「カントリーロード」をはじめとする全5曲を演奏しました。「アンコールにやってくれてうれしかった。感動しました。来年も来ててください」と児童にも大好評、次の再会を楽しみにしていました。

福引きの特賞は、金の恵比寿大黒。「さあ、福よ来い!!」願いを込めた、緊張の瞬間。



福を引きてえびす顔

12月2日から2日間、金田町商工会主体による金田恵比寿奉賛会主催のえびす祭りが開かれました。初日夜の「宵のえびす」と2日目朝の「明けのえびす」に、延べ約1800人が訪れ、家内安全や商売繁盛を願いました。祭りで一番の人気は、やはり福引き。会場となった金田菅原神社境内に山積みされた賞品は、見る間に交換されていきました。毎年福引きを楽しみにしている吉田三枝子さん(金田 宝見)は「孫と4人、みんな仲良く亀賞が当たりました」とこやかに話していました。

磨き抜かれた技と礼が集う

12月9日に福智町弓道連盟主催の弓道大会が、福智町弓道場で開催されました。初心者から全日本・国体クラスの有段者まで、町内外から361人の弓道愛好家に参加。日ごろの稽古の成果を競い合いました。弓道場独自の張りつめた雰囲気の中、背筋をピンと伸ばし、的を見据えた選手のみならず、一射への集中力のすごさが伝わってきました。



力強く放たれた矢は、空気を切り裂き、28m先の的を見事にとらえました。

「これからもがんばってください」と園児たちから花束が手渡されました。



安全運行に感謝の気持ち

「いつも安全に乗せてくれてありがとうございます」。勤労感謝の日にちなみ、11月26日に金田保育園の園児90人が、遠足や買い物でいつもお世話になっている平成筑豊鉄道金田駅を訪れ、感謝の気持ちを込めた手紙や花束を出島静吾専務に手渡しました。受けとった出島専務は「みんなが安心して楽しく乗車できるようにがんばります」と力強く応えました。